

「伸楽」とは…

押しつけられたり、しなければならぬからいやいや学んだりするのではなく、一人ひとりが学ぶ意味を見つけ出し、喜びの中で輝き成長する教育、それを目指す考え方です。伸楽ひふみ学園はこの伸楽の考え方に基づいた、小中学生のひふみ塾・中等部・高校（通信制課程）の学習支援センター・大学（通信制課程）のサテライトカレッジ・就労支援のためのNPO団体を併せ持つ総合学園です。

すっかり打ち解けました。



新学期がスタートして3か月、新入生たちにも友達ができ、新しい環境にもすっかり慣れた様子です。上級生とも仲良くなって、一緒に遊んだりイラスト作成や課題作成に協力して取り組んだりしています。

ひとりで過ごすのが好きな生徒も、それぞれに自分の居場所や自分なりの過ごし方を見つけ、日々充実している様子が伝わってきています。2年生・3年生は昨年までよりも更にしっかりしてきましたし、1年生も時間をかけてここで自分らしさを発揮していく中でたくましく成長していくことでしょう。

終業式は笑いと癒しと絆の時間。1学期みんなよく頑張りました。

7月13日、1学期の終業式を行いました。今年はまだ梅雨明け前で例年行ってきたバーベキューは難しい事もあり、また、以前ご縁のあった笑いヨガの先生を講師にお招きしてみんなで笑いヨガを体験して賑やかに過ごそう、という事になったので、笑いと癒しと絆の時間を過ごすことにしました。

会場となったのは金沢市民芸術村の和室。10時過ぎに生徒11名、保護者2名、その他スタッフを合わせて20名ほどの人数になりました。

まずは笑いヨガというものがどういうものか、という事をお話していただき、実践するためのいくつかのお約束事を教えていただきました。その後、近くにいる人と握手をしてひと笑い、お互いを認め合うサインを出し合ってひと笑い、座ってひと笑い、隣の人と見つめ合ってひと笑い、手足をバタバタさせながらひと笑い…と、徐々にアクションが大きくなっていきます。最初は恥ずかしがっていた生徒や大人たちも、笑い

合う度にだんだん笑う事に抵抗感がなくなってきて楽しめた様子です。保護者が参加された生徒にとっては、親と一緒に笑い合う、貴重な時間となった事でしょう。

基本は「笑う」ことしかしていませんが、40分ほど笑い合っていたら結構カロリーを消費したのか全身うっすらと汗をかき、ちょっとした運動をしたあのような感じでした。

笑いヨガ終了後は、教室でも人気のアルケミークリスタルボウルの演奏にみんなで耳を傾けました。

同じ楽器で同じ奏者が奏でる音色も、場所や時間、集まった人たちの気によって毎回全く異なる不思議な癒しの音。リラックスできる姿勢でその音色に耳を傾け、みんなそれぞれの1学期を振り返ったことでしょう。

1年生も2年生も3年生も、1学期間本当によく頑張ったと思います。

2学期は9月3日(月)からスタートの予定です。



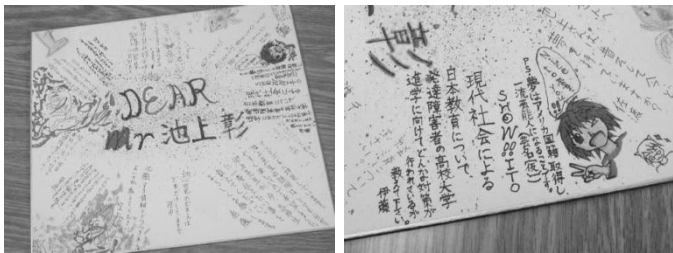
オーサービジット 2012 に申し込みました。

5月16日の朝日新聞に掲載されていた、今年10年目を迎える特別授業のオーサービジット2012。毎年子どもたちに人気の本の作者が小・中・高の教室に出掛けて特別授業を開いてくれるこの企画に、今年初めて応募しました。

生徒達には事前に複数名いらっしゃる先生の中から希望の先生を選んでもらって、一番人気の高かった方の中から総合的に判断をして教室に呼びたいおひとりを選び、みんなで申し込みのための色紙作りに取り組みました。

色紙作りはこれまでに経験したハンドメイド講座の腕の見せ所。それぞれが思いを込めたメッセージを寄せ書きにし、空いたスペースには思い思いにイラストを描いたりカラー筆ペンでデコレーションを施したりして素敵な一枚が仕上がりました。

6月中に申し込みを完了し、あとは結果を待つだけです。ちなみに池上彰さんに宛てて色紙を作りました。人気が高そうなので当選するかわかりませんが、個性豊かな西金沢学習支援センターに来ていただけるのを今からみんなで楽しみにしています。



ハンドメイド講座で被災地支援をしています



伸楽ひふみ学園は、昨年3月に発生した東日本大震災の被災地に向けて支援物資の募集や発送のお手伝いをしています。その一環として、ハンドメイド講座の授業では被災地向けに色々なものを作っています。現在までにたくさんのオリジナルメッセージカードや手作り表紙、ナプキンデコパーズをあしらった石けんを生徒たちのメッセージを添えて送ってきました。

6月のハンドメイド講座では今年度の1年生にとっては初めての表紙作りにも挑戦してもらい、個性豊かな表紙を被災地に送ることが出来ました。

表紙になるプレートに白いアクリル絵の具を塗って、たくさんある紙ナプキンから生徒たちが好きなデザインのものを選んで切り取り、のり付けとニス塗りをして完成します。初めて挑戦した生徒の中には、独自の発想を生かしてプレートに和紙を貼り、そこにイラストを描いて完全なオリジナルデザインの表紙を作ってくれた子もいます。

これからも、スタッフ・生徒がもの作りを通して被災地に思いをはせる時間を継続していきます。

親の会カフェミーティング

教室に通う生徒の保護者の方や地域の方、サポートして下さる方をお招きしてお茶やお菓子を囲んで語り合う、親の会カフェミーティング。

5月は第1土曜日が大型連休だったこともあり、第2土曜日に開催。6月・7月は第1土曜日に開催しました。

毎回、保護者の方やスタッフ、時には現役3年生の生徒も参加してお茶とお菓子を囲みながら自己紹介をしたりお子さんの得意な話や苦手分野の話をしたり、和やかな時間を提供しています。

学校の様子や学習指導の相談にとどまらず小さい子を持つお母さんから子育てに関する相談なども飛び出し、センター長や保護者の方たちからアドバイスを受けるなど単に高校の枠組みの中だけではない、子育て交流広場としての姿がそこにはありました。



体験入学会&進路相談会



人気の授業が体験できる体験入学会は、今年度に入って定期的で開催しています。前回までに伸楽ひふみ学園の大学や高校への進学を考えている高校生や中学生、卒業後の方向性を相談に来た高校3年生が保護者の方と一緒に参加してくれました。

これまで通常の授業で行うハンドメイド講座にはなかなか参加できなかった生徒が満を持してもの作りに挑戦し、達成感を得てそれ以降の授業でもハンドメイドに参加してくれるようになったり、葛藤を抱えながらも前向きに進んでいきたいという思いを持って相談に訪れ、スタッフや親御さんからいろいろな助言や対策を受けて晴れやかな顔になって帰って行ったり、お母さんと初めて参加した中学3年生の男の子が積極的にもの作りに挑戦してくれたり毎回楽しみの中でのづくりを経験してくれたようです。今後も体験入学会では、楽しみながら学べる授業を続けていきます。

私の想い ～伸楽ひふみ学園という学び舎を作って～

こんにちは、伸楽ひふみ学園、学園長の佐藤公一です。

2009年に日本航空高等学校西金沢学習支援センターとしてスタートして、早3年が経ちました。現在は、中等部、高等学校、大学（星槎大学）、卒業後の就労をサポートするNPO法人を持つ全国でも稀な総合学園になりました。

行き場のない発達障がいのある生徒のために立ち上げた学校ですが、その縛らない自由な校風に憧れて、健常の生徒も多く入学しています。発達障がいのある生徒も健常の生徒も、それぞれ1、2、3年と経って成長していく姿を見ると教師冥利に尽きます。生徒の笑顔、親御さんの笑顔を見る時、この学校を作って良かったなあ、とつくづく思います。

この学校の特色のひとつに、文部科学省指定の教科の単位履修の他にソーシャルスキル心理ワークという授業があります。

ソーシャルスキルとは、社会性を磨く技術です。もっと簡単に言うと、ルールでコミュニケーション技術を教える授業です。笑顔（微笑み）と返事（ポジティブな言葉）をルールの柱にして、様々なコミュニケーショントレーニングをしていきます。このルールには、自分の感情をコントロールする技術も入っているので、ここの学校ではソーシャルスキル心理ワークと呼んでいます。

伸楽ひふみ学園での基本的な授業形態は、通常の一対多人数の一斉授業ではなく、個別教育の形を採用しています。英語の授業でも数学でも国語でも基本は黒板は使わず、一人ひとり学習に取り組む場所もペースも違います。また生徒達は一人ひとりに合わせた時間割を作り持っています。

ソーシャルスキルも初めは個別に指導していきま

す。その後、その子その子に合わせて実践のトレーニングに入っていきます。実践トレーニングといっても、無理なく生徒一人ひとりに合わせた指導です。

生徒の成熟度を合わせた数名のグループを作ったトレーニングから始め、外部の人に来てもらったり、こちらから出向いたりしての少しハードルの高いコミュニケーショントレーニングも行います。また応用編として、段階を見た上で協力企業等にアルバイト、またはボランティア等でのコミュニケーショントレーニングも行っています。

ただし、あくまでも一人ひとりに合わせたオーダーメイドの教育を心掛けていますので、一人ひとりの成熟度を見極めながら、的確に無理なくステップアップできるようにプログラムを組んでいます。

このようなソーシャルスキルを経て少しずつコミュニケーションが上手になり、この学校に来て初めて友達や親友が出来たという生徒も多いです。入学した頃には社会性に乏しく感情的で手が付けられなかった生徒が、3年生になった頃には下級生を引っ張るリーダーに成長したという例もあります。

また、ソーシャルスキルではないですが、伸楽ひふみ学園はまず入学したての頃に様々な職業を提示した上で将来の目標作りをします。最初はとても反抗していた生徒が、目標（夢）を見つけ自ら勉強するようになったという例もあります。学校で過ごす中でスクールカウンセラーになりたいという目標を見つけ、高校卒業後は星槎大学で教員免許を取得してこの学校の先生になりたいという生徒も出てきました。この生徒に関しては、カウンセラーとしての資質があるので大学卒業後に伸楽ひふみ学園で働けるよう見えています。

改めて、こんな学校を作って良かったと感じる日々です。

子育てのワンポイントアドバイス その1

■ルールづけ

子どもが、パソコンゲームをやり始めると止らないので、家では禁止しているんです、という話が出たことがあります。「〇〇してはいけません」は、どこの家庭でもよく言うことですが、それでは、子どもたちは「お母さんが禁止するから我慢する」ということしか学べません。やりたければお友だちの家へ上がりこんでやり続けるでしょう。

大事なのは、子どもが自分でスイッチのオンとオフを入れられるようになることです。私の場合は、子供の頃8時までしかテレビを見ることを許されませんでした。お休みの日の前の「8時だよ、全員集合！」とか大晦日だけは除夜の鐘の鳴るまで・・・という例外はありましたが。このルールで学んだことが自分の中にありましたので、わが子たちには9時までテレビOK、その後はどうしても見たかったら録画をして翌日見る、というルールを作りました。

子どもたちはこうしたルールのなかで、時間をコントロールすることを学んでいくのです。「〇時まで、ゲームをしていいけれど、時間がきたら止めること」家庭の中で、こうした「時間をまもる」という生活のルールを学んでいくことはとても大事なことです。

子育てアドバイザー 笠松 ゆり

今までにない新しい形の中等部ができました

伸楽ひふみ学園では、来年度より正式に中等部を開校いたします。これまでにはフリースクールの中でやっていた小中学生の学習支援の部分を、保護者の方たちのご要望がきっかけとなり、非常に特徴的なシステムで誕生します。

ソーシャルスキルトレーニング（コミュニケーショントレーニング）や心理ワーク（感情をコントロールするトレーニング）などの独自のプログラムで社会性を身につけるほか、地元の中学校と連携して授業プログラムを組み立てて学習を進め、将来的にはもともとの中学校に戻って通えるようになることを目的に設立しました。

これは、何年も前から「フリースクールに通わせるのなら、地域の学校と連携してほしい、出席日数になってほしい」との声があり、模索を続けてきた結果このような中等部を設計し、県や市の教育委員会にも挨拶をして、スタートに踏み切ることができることになったものです。

この中等部は、あくまでも不登校の生徒を対象にしたものです。全く家から出られない生徒にもメールや電話などからスタートします。

必要な方がいましたら、選択肢の一つとしてお考え頂ければと思います。

先生だより ～山田睦子先生～

こんにちは、山田です。

英語担当ですが、実際は生徒さんたちとのお喋りを楽しみに教室にきています。

ここの生徒さんは、みなさんとっても魅力的です。私の知らないことを熱心に教えてくれたり、すばらしい作品や技を披露してくれたり、いろいろな思いを懸命に言葉にして語ってくれたり。いつもはあまりお話しなくても、アンゲームをしたときなんかには、はっとさせられる考えを聞かせてくれたり。皆さんの顔を見て、お話を聞くのが大好きです。

さて、今回のお題は「この学校の印象」なので…正直に申し上げますね。

それは、「なんてタイヘンな学校!!」です。

時間割がない、チャイムがない、自分のペースで学ぶ…これらのゆる～くあま～く響く言葉の意味するものは、「自立」「自律」に他なりません。もちろん、私たちスタッフもサポートしますが、「自身と対峙する」「時間と対峙する」という、おそらく教科の学習よりもタイヘンなことは、最終的に自分で折り合いをつけるしかないのです。この大切なことを、ここの生徒さんたちは知っていて、日々取り組んでいます。素晴らしい事だと思います。

ステキな生徒さんたちに出会えたご縁に感謝して、次回もお喋りを楽しみにいきますネ!



なんな先生の Mana カードリーディング

☆ 8月 ラカ 「インスピレーション」

8月は夏真っ盛りですね。フラの女神様ラカが、この夏はどんどん外に出なさいと言っています。自分がリラックスできる場所に出かけたり、好きなスポーツをしにいったり、どんどん外にでて動くことによって、あなたに必要なインスピレーションが湧いて来ます。色々な事に忙しくてお疲れ気味の人は、是非ご自身のパワースポットへ出かけて下さい。8月はじっとしているよりも、動くことによってパワーやインスピレーションが湧いてくる月です。その他、習い事をはじめたり、男女のお付き合いをはじめめるのもOKです。思った事は、すぐ行動に移しましょう。

☆ 9月 パパ&ワケア 「苦闘」

パパ&ワケアは、天地創造の神様です。

9月は、物事の二面性や、相反するものに対する悩みが表面化してきます。どんなときも、全てを受け入れる心を持ちましょう。どんなことも、あなたの人生に必要なことなのです。それを受け入れた時、あなたは大きなものを得ることができるでしょう。この世に生まれたことに感謝して、自分自身も素晴らしいものを生み出すことができると信じましょう。

☆ 10月 アヌエヌエ 「虹の女神 変容」

あなたの周りで起こっている全ての事は、あなたが精神的に成長するために必要なことです。虹は、曇って雨が降ったり、霧がでたりして、初めて私達の前に現れてくれます。全てはあなた自身が、虹のように変容していくために必要な出来事だと思って下さい。どんな時でも明るく輝いていれば、きっと宝物が向こうからやってきてくれます。

ひ・と・こ・ま 教室風景



陶庵さんでワイヤーアート体験中。

親の会カフェミーティングを行っています

毎月1回、発達障がい・学習障がいのご家族を持つ保護者の方と、それをサポートする仲間が気軽に集まって、悩みを語り、新しい情報を共有し、笑い、理解を深めたり友好を深めるのが目的のカフェミーティングです。お茶を囲んで楽しいおしゃべりをしながら、ものづくりなどを体験することもできます。

次回は9月1日(土)の10時からです。ホームページにも予定が出ていますのでご確認ください。

体験入学会 実施予定日

西金沢学習支援センターでは、定期的に体験入学を実施しております。

今後も、下記の日程で実施予定です。

平成 24 年 8 月 18 日 (土) 13:30~15:00

平成 24 年 9 月 15 日 (土) 13:30~15:00

平成 24 年 10 月 20 日 (土) 13:30~15:00

体験入学への参加は、事前の申し込みが必要です。

参加費は無料です。

実施場所につきましてはすべて仲楽ひふみ学園で行います。



今日の作品 ～石けんデコ～